



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月27日

上場会社名 株式会社アズーム 上場取引所 東
 コード番号 3496 URL https://azoom.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅田洋司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 馬場涼平 TEL 03-5365-1235
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,108	31.6	101	—	100	—	64	—
2020年9月期第1四半期	842	—	1	—	0	—	△2	—

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 63百万円 (—%) 2020年9月期第1四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	22.23	21.48
2020年9月期第1四半期	△0.80	—

(注) 1 2020年9月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2 当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を予定しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3 2020年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

4 2021年9月期第1四半期の営業利益及び経常利益の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,844	1,020	55.1
2020年9月期	1,890	953	50.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 1,015百万円 2020年9月期 950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期（累計）	2,100	18.3	180	304.6	180	307.3	115	393.8	40.04
通期	4,800	25.8	450	100.5	450	101.6	288	106.5	100.09

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を予定しております。2021年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、2021年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	2,933,400株	2020年9月期	2,922,200株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	44,872株	2020年9月期	44,872株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	2,881,352株	2020年9月期1Q	2,921,902株

（注）当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を予定しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、前連結会計年度末にかけて落ち着きを見せた新型コロナウイルス感染症の感染拡大が冬季に向け再び拡大傾向に転じるなど、依然として厳しい状況が続いております。先行きについては、感染拡大の防止策を講じる中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあり持ち直しの動きが続くことが期待されております。しかしながら国内外の感染症拡大による社会経済活動への影響が経済を下振れさせるリスクや金融資本市場の変動等が当社グループに与える影響は不透明であり、今後も引き続き注視し、適切な対応を講じてまいります。

当社グループの経営環境としましては、遊休不動産活用事業に主として関連する駐車場業界において、インターネットを活用した月極駐車場の紹介依頼需要は増加しており、オフィスビルや分譲マンション等における駐車場空き区画の収益化に対する需要も依然として拡大しております。さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、従来は店舗型の不動産仲介業者にて月極駐車場を探していたユーザーが、当社が運営するポータルサイトを通じてインターネット経由で流入するケースがより増えてきており、駐車場の問い合わせ件数の増加要因となりました。また、ビジュアライゼーション事業においては、2020年2月以降において新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、宿泊施設や商業施設の不動産開発が停滞し、当社グループが提供する不動産画像に対する需要が低下している状況にありましたが、2020年7月頃から経済活動が再開したこともあり徐々に需要が回復してきておりました。しかしながら2020年11月頃より再び新型コロナウイルス感染症が拡大傾向となり、2021年1月には首都圏をはじめ多くの都市にて再び緊急事態宣言が発令されるなど先行きが不透明な状態が続いております。これらの影響を含め、依然として新型コロナウイルス感染症により先行きが不透明ではありますが、当社グループへの影響については今後も引き続き注視し、適切な対応を講じてまいります。

このような経営環境のもと将来的な収益力の強化を目的として、既存社員の育成に引き続き努め、新規案件の獲得のための積極的なアプローチを行えるよう経営基盤の拡大に注力するとともに、ベトナム子会社でのシステム開発・グラフィックデータ制作の体制を強化するための投資やリモート環境等の制約に関わらず営業活動を継続できるようIT面での新たな技術の開発を引き続き行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,108,564千円（前年同期比31.6%増）、営業利益は101,086千円（前年同期は営業利益1,004千円）、経常利益は100,830千円（前年同期は経常利益736千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は64,056千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,323千円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 遊休不動産活用事業

遊休不動産活用事業セグメントは、当社がインターネット上で運営する月極駐車場のポータルサイト「CarParking」（以下、「カーパーキング」といいます）を経由して、駐車場の紹介を行う「月極駐車場紹介サービス」と、駐車場オーナーから空き駐車場を当社がマスターリース（一括借り上げ）し、月極駐車場としてユーザーにサブリース（貸し付け）を行う「月極駐車場サブリースサービス」を中心として事業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、カーパーキングを通じたインターネット経由でのユーザーの流入増加を背景に、引き続き既存社員の営業力強化やリモート環境下での営業活動推進に努め、カーパーキングへの問い合わせ件数、マスターリース台数及びサブリース台数のいずれも堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間における駐車場問い合わせ件数は50,630件となり、当第1四半期連結会計期間末におけるマスターリース台数（受託台数）は12,023台、サブリース台数（稼働台数）は10,990台となりました。また、貸し会議室運営サポートを提供するWEB予約システム「スマート会議室」においては、2020年7月にランディングページを改修したこと等により問い合わせ件数及び成約件数が増加傾向にあります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,084,225千円（前年同期比31.0%増）、セグメント利益は108,143千円（前年同期はセグメント利益3,292千円）となりました。

② ビジューライゼーション事業

ビジューライゼーション事業セグメントは、不動産の可能性をより視覚的に伝えることを可能にするため、3DCG技術等の専門的なスキルを活用し、建物や空間の利用方法及び完成イメージをグラフィックデータとして制作し、その販売を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、既存社員の技術力や営業力の強化に注力しつつ、多様な営業提案が可能となるように事業基盤の拡大に努めました。2020年11月頃より再び新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にありますが、2020年4月に発令された1回目の緊急事態宣言下に比べれば、足元ではその影響は限定的であります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,339千円（前年同期比59.9%増）、セグメント損失は7,057千円（前年同期はセグメント損失2,288千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,342,051千円となり前連結会計年度末に比べて54,859千円減少しております。その主な要因は、税金の納付により現金及び預金が79,905千円減少した一方で、月極駐車場の受託台数の増加に伴い前払費用が23,525千円増加したことによるものであります。固定資産は502,297千円となり、前連結会計年度末に比べて8,570千円増加となっております。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて46,288千円減少し、1,844,349千円となっております。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は294,153千円となり、前連結会計年度末に比べて121,507千円減少しております。その主な要因は、税金の納付により未払法人税等が51,981千円減少したことによるものであります。固定負債は529,554千円となり、稼働台数の増加に伴い月極駐車場サブリースユーザーからの預り保証金が15,946千円増加した影響により前連結会計年度末に比べて8,067千円増加しました。以上の結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて113,439千円減少し、823,708千円となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,020,640千円となり、前連結会計年度末に比べて67,151千円増加しております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を64,056千円計上したことにより利益剰余金が同額増加したことによるものであり、自己資本比率は55.1%（前連結会計年度末は50.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2020年11月9日の「2020年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,078,160	998,255
売掛金	67,008	63,496
たな卸資産	373	636
前払費用	245,535	269,060
その他	8,547	13,067
貸倒引当金	△2,714	△2,464
流動資産合計	1,396,911	1,342,051
固定資産		
有形固定資産	88,542	86,399
無形固定資産		
のれん	70,837	68,869
その他	66,169	78,615
無形固定資産合計	137,006	147,485
投資その他の資産		
敷金	108,977	108,943
差入保証金	99,409	102,102
その他	63,238	61,881
貸倒引当金	△3,448	△4,513
投資その他の資産合計	268,177	268,413
固定資産合計	493,727	502,297
資産合計	1,890,638	1,844,349
負債の部		
流動負債		
未払金	46,284	39,091
未払法人税等	87,317	35,335
前受収益	93,772	95,929
賞与引当金	19,019	12,828
1年内返済予定の長期借入金	36,672	36,672
その他	132,595	74,297
流動負債合計	415,661	294,153
固定負債		
長期借入金	143,324	135,712
預り保証金	342,620	358,566
退職給付に係る負債	4,800	4,800
資産除去債務	27,636	27,644
その他	3,106	2,830
固定負債合計	521,487	529,554
負債合計	937,148	823,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	416,599	417,459
資本剰余金	396,505	397,365
利益剰余金	217,657	281,714
自己株式	△80,212	△80,212
株主資本合計	950,549	1,016,326
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△263	△731
その他の包括利益累計額合計	△263	△731
新株予約権	3,203	5,045
純資産合計	953,489	1,020,640
負債純資産合計	1,890,638	1,844,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	842,578	1,108,564
売上原価	516,980	649,741
売上総利益	325,597	458,823
販売費及び一般管理費	324,593	357,736
営業利益	1,004	101,086
営業外収益		
その他	75	34
営業外収益合計	75	34
営業外費用		
支払利息	153	154
その他	188	135
営業外費用合計	342	290
経常利益	736	100,830
税金等調整前四半期純利益	736	100,830
法人税、住民税及び事業税	597	31,717
法人税等調整額	2,700	5,055
法人税等合計	3,297	36,773
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△2,560	64,056
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△236	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△2,323	64,056

(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2019年10月 1 日 至 2019年12月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2020年10月 1 日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△2,560	64,056
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	605	△468
その他の包括利益合計	605	△468
四半期包括利益	△1,955	63,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,718	63,588
非支配株主に係る四半期包括利益	△236	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関して、2020年4月に発令された1回目の緊急事態宣言下においては、当社グループの営む一部の事業領域で受注件数の減少や既存顧客の解約といった影響を受けたものの、2020年5月25日の当該宣言解除後は一定の回復が見られております。2021年1月には2回目の緊急事態宣言が発令されましたが、足元の状況を総合的に勘案し、当社グループへの影響は1回目の緊急事態宣言下と比べて限定的であると判断しております。

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは不透明であり、現段階においてその影響額を合理的に算定することは困難であります。2回目の緊急事態宣言が発令された一方で、諸外国においてワクチン接種が開始されるなど感染収束に向けた進展も見られることから、今後しばらくは一定程度の影響を受けるものの、緩やかに需要が回復し、当連結会計年度末にかけて収束していくとの会計上の見積りの仮定に前連結会計年度末からの重要な変更はなく、現状入手可能な情報により固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、当社グループが会計上の見積りに用いた仮定を上回る新型コロナウイルス感染症の長期化・深刻化があった場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(株式分割ならびに株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2020年12月22日開催の取締役会の決議において、株式分割ならびに株式分割に伴う定款の一部変更について決議いたしました。

1 株式分割の目的

当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げることで株式の流動性を高めるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2021年1月31日を基準日として同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	1,466,700株
今回の分割により増加する株式数	1,466,700株
株式分割後の発行済株式総数	2,933,400株
株式分割後の発行可能株式総数	9,600,000株

(注) 上記の発行済株式総数及び増加する株式数は2021年1月27日現在の発行済株式総数に基づき記載しているものであり、株式分割の基準日までの間に新株予約権の行使により増加する可能性があります。

(3) 日程

基準日公告日	2021年1月14日
基準日	2021年1月31日
効力発生日	2021年2月1日

3 1株当たり情報に及ぼす影響

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における1株当たり情報の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△0円80銭	22円23銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	21円48銭

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

4 定款の一部変更

(1) 変更の理由

株式の分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づいて、当社定款の一部を次のとおり変更いたします。

(2) 変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。(変更箇所を下線を付しております。)

現行	変更後
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>4,800,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>9,600,000株</u> とする。

(3) 定款変更の効力発生日

2021年2月1日

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	遊休不動産活用事業	ビジュアライゼーション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	827,360	15,217	842,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	827,360	15,217	842,578
セグメント利益又は損失(△)	3,292	△2,288	1,004

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	遊休不動産活用事業	ビジュアライゼーション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,084,225	24,339	1,108,564
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,084,225	24,339	1,108,564
セグメント利益又は損失(△)	108,143	△7,057	101,086

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。